

# 小田原 Laboratory.

活動対象地域 : 神奈川県小田原市

活動開始年度 : 2014 年度

活動キーワード: 中心市街地、プレイスメイキング、公共空間

2014 年度活動メンバー

学部3年生:2名 / 学部4年生:4名

修士2年生:2名



## 小田原市中心市街地の公共空間を対象とした プレイスメイキングの計画手法及びプロセスの実践

### 【活動目的】

小田原市中心市街地の公共空間を対象とし、プレイスメイキング（都市空間において愛着や居心地の良さといった心理的価値を伴った公共的空間を創出するボトムアップ型の計画概念）の視点から住民や利用者と協働しながら公共的空間の整備・活用を促すことで、まちの中に豊かな生活の風景を増やしていくことを目的としています。

### 【活動対象地概要】

小田原市では駅前や中心市街地を中心とし、今後数年の間に完成を目指す3つの大きなプロジェクトが計画されています。これらの事業は小田原の街の将来を左右する重要な事業であり、これを契機にまちの周辺整備や施設の活用方法、市民参加のプロセス等について行政、市民、事業者といった人々が今一度一緒になって考えるチャンスが生まれています。



### 【活動体制】

小田原 Laboratory. は工学院大学 都市デザイン研究室、都市デザイン・マネジメント研究会、こうめこ、の三者による協働型プロジェクトです。工学院大学都市デザイン研究室からは、都市計画や都市デザインを学ぶ学部3年生から修士2年生まで学生が参加しています。大学としても、都市デザイン系の3研究室を横断して取り組む新しい形のプロジェクトです。都市デザイン・マネジメント研究会 (UDM 研究会) は、大学、行政、都市コンサルタント、デベロッパー、NPO 法人等の都市デザイン・マネジメントに関わる業務に従事する若手メンバーのプラットフォームです。小田原 Laboratory. には、工学院大学のOBOG を中心とした有志メンバーが参加しています。こうめこは、小田原市役所の自主研究組織であり、日々小田原の街のために働いている若手職員が参加しています。



# 2014 年度の活動内容

## 【対象エリア】



小田原 Laboratory. の取り組みは、小田原駅の東側に広がる中心市街地を対象とし、以下の3エリアを活動対象とします。駅前から国道沿いにかけて広がっている商業エリアは、江戸の時代から商人地として栄えて来た場所であり、現在でも複数の商店街としてその営みが続いています。商業エリアと接して南側に広がる水産加工エリアでは、小田原は全国でも有数の蒲鉾の名産地であることから、近隣漁港で水揚げされた魚を加工する加工場が立ち並んでいます。また武家地エリアでは、かつての武家地の面影が残る、広い敷地割りが特徴的な閑静な住宅街が広がっています。



小田原城



商業エリア



水産加工エリア



武家地エリア



海 (相模湾)

## 【第1回プレイスメイキングイベントの開催】

6月15日(日) 第1回イベント

KICK OFF EVENT. “Discovery Walk & Workshop”

**小田原 Laboratory.**  
**KICK OFF EVENT.**  
**“Discovery Walk & Workshop”**  
 2014.06.15.SUN. starting 12:30 at ODAWARA.st.

### 【目的】

- ・小田原に関する情報の共有と地域資源の発掘
- ・プロジェクト対象地を探す
- ・メンバー同士の交流や相互理解を深める



3 大事業地見学



基礎調査報告



Discovery Walk



Workshop

10月18日(土) 第2回イベント

SECOND EVENT “Street Survey & Workshop”



2014 / 10 / 18 SAT.  
 小田原 LABORATORY



### 【目的】

- ・フィールドサーベイを通じて、プロジェクトの実現可能性について考える
- ・WSを通じて、1つのプロジェクトについて考える



活動報告会



ピクニックランチ



Street Survey



Workshop